

第70回 日本体力医学会大会で発表しました。
 期日：2015年9月18日（金）～20日（日）
 場所：和歌山県民文化会館 ホテルアバローム紀の国

ご利用者様に安心して安全に運動していただくことを目的に、ジョイリハで行っている3時間の運動プログラムのエビデンス（証拠）の構築を行っております。
 第10報の第57回日本老年社会学会での発表に続き、今回の発表は11回目となりました。

「機能訓練専門デイサービス利用者の立位・歩行機能の変化」

No.216-5



機能訓練専門デイサービス利用者の立位・歩行機能の変化

○大金 朱音¹⁾
 今井 悠人²⁾, 岡本 将²⁾, 大淵 裕一³⁾
 島田 裕之⁴⁾, 樋崎 尚史⁴⁾, 鈴木 隆雄⁵⁾

1) 至誠館大学
 2) 株式会社ウェルネスフロンティア
 3) 東京御健康長寿医療センター
 4) 国立長寿医療研究センター 5) 桜美林大学

今回はジョイリハを90日間利用した方の立位・歩行機能改善の効果を、歩行装具の使用状況との関係で報告しました。

解析対象者は、ジョイリハを2010年4月1日から2014年2月6日の間に利用した方の内、初回利用時、また、初回利用時から90日後の運動機能のデータを確認できる方で、要支援1、2、要介護1、2の1,145名としました。

●歩行速度と歩行装具の使用状況の変化

ご利用者様はサービス利用90日後に、歩行装具が取れる傾向にあり、歩行装具が取れなかった者でも歩行速度が向上します。
 脳卒中者でも、一部を除き、麻痺の状況にかかわらず、改善傾向にあることがわかりました。

歩行速度 まとめ

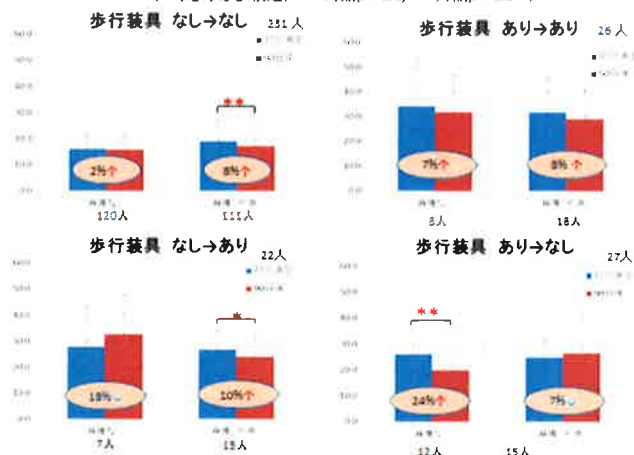
- 歩行装具を使わず測定に参加できる人（独歩者）は、サービス利用90日後に増加し（84.8→86.5%）、歩行装具使用者は減少した（15.9→13.5%）。
- 歩行装具使用者の48.1%は、歩行装具を使わずに測定に参加できるようになった。
- 歩行装具が取れなかった者でも、歩行速度が7.2%向上した。
- 脳卒中者の歩行速度は全体で2.8%向上したが、歩行装具を使用するようになった群を除き、有意な向上が認められた。

●脳卒中者のTUGの変化と歩行装具の使用状況

麻痺の状況ごとに調べましたが、「※印」がついている3群で記録が有意に向上し、有意な低下が確認された群はありませんでした。

脳卒中者のTUGの変化と歩行装具の使用状況

（対応のあるt検定、** 片側p<.01, * 片側p<.05）



【考察】

デイサービス90日間の利用は、立位・歩行機能に改善に有効と結論します。
今後は、改善した機能が、活動や参加の向上につながる支援を行い、結果を科学的に検証していきたいと考えます。

考 察

1. 機能訓練専門デイサービスの90日間の利用は、利用者の立位・歩行機能の改善に有効であった。

歩行速度
複合的移動能力
動的バランス
静的バランス
全身持久力



2. 今後は、改善した運動機能が、利用者の活動や参加の向上につながる支援を行い、科学的に検証していきたい。

今後も引き続き研究、報告を行ってまいります。


データ収集と写真の開示にご協力くださいましたご利用者様に感謝いたします。

また、今回ご協力くださいました先生方には、この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

桜美林大学・国立長寿医療研究センター 鈴木隆雄先生
国立長寿医療研究センター 島田裕之先生、篠崎尚史先生
東京都健康長寿医療センター 大淵修一先生
至誠館大学 大金朱音先生

今後ともどうぞよろしく願いいたします。

No. 2 I 6-5

 第70回 日本体力医学会大会
2015年 9月18日(金)~20日(日)
和歌山県民文化会館

機能訓練専門デイサービス利用者の 立位・歩行機能の変化

○大金 朱音 1)

今井 悠人 2), 岡本 将 2) 大淵 修一 3)
島田 裕之 4), 篠崎 尚史 4), 鈴木 隆雄 5)

1) 至誠館大学

2) 株式会社ウェルネスフロンティア

3) 東京都健康長寿医療センター

4) 国立長寿医療研究センター 5) 桜美林大学

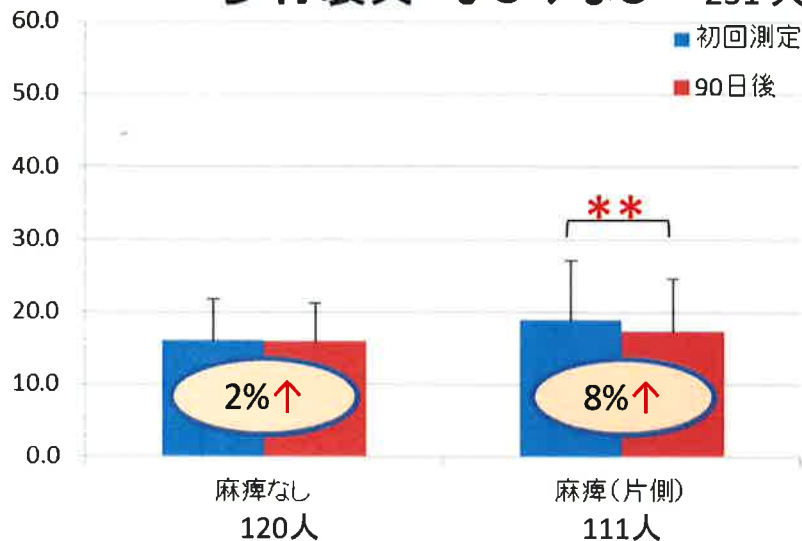
歩行速度 まとめ

- 歩行装具を使わず測定に参加できる人(独歩者)は、サービス利用90日後に増加し(84.8→86.5%)、歩行装具使用者は減少した(15.9→13.5%)。
- 歩行装具使用者の48.1%は、歩行装具を使わずに測定に参加できるようになった。
- 歩行装具が取れなかった者でも、**歩行速度**が7.2%向上した。
- 脳卒中者の**歩行速度**は全体で2.8%向上したが、歩行装具を使用するようになった群を除き、有意な向上が認められた。

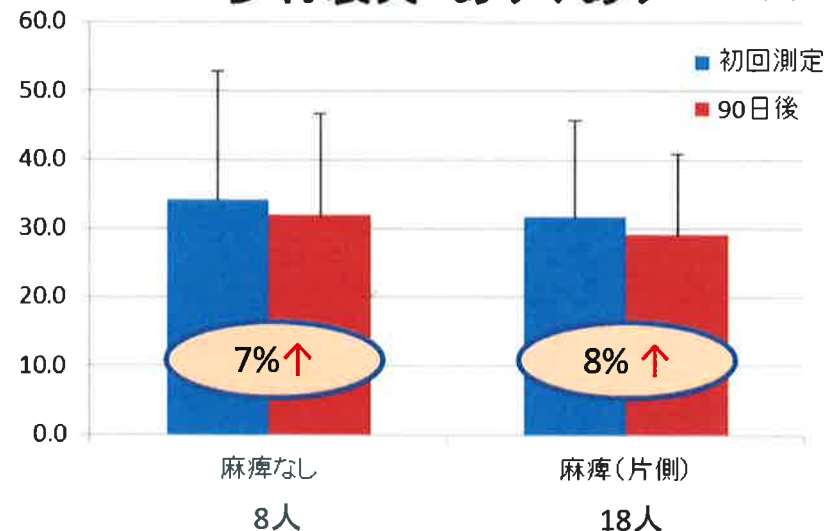
脳卒中者のTUGの変化と歩行装具の使用状況

(対応のあるt検定, ** 片側p<.01, * 片側p<.05)

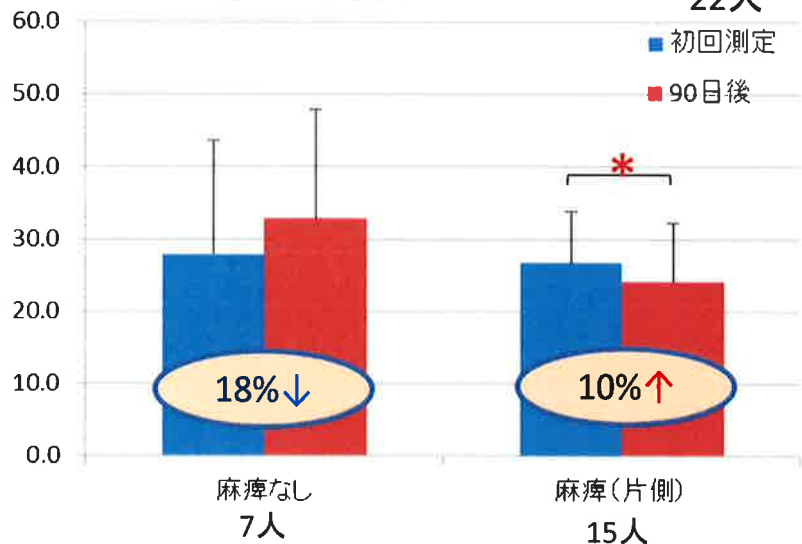
歩行装具 なし→なし 231人



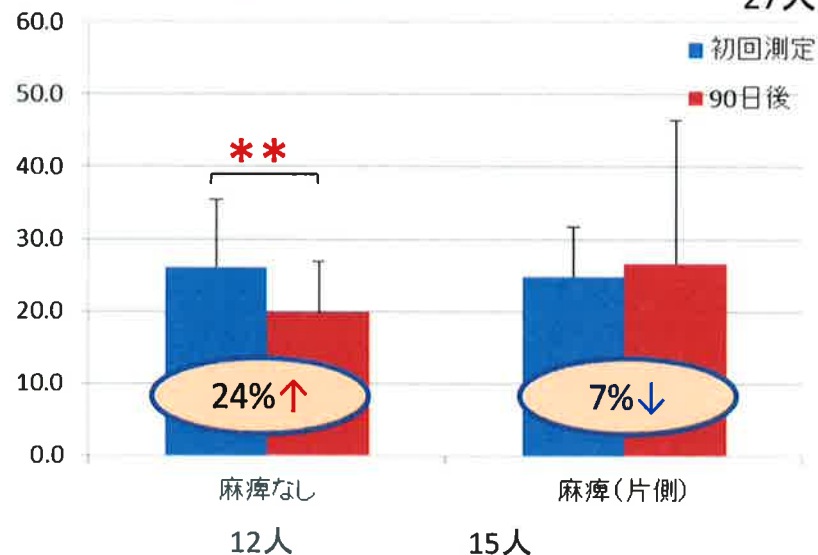
歩行装具 あり→あり 26人



歩行装具 なし→あり 22人



歩行装具 あり→なし 27人



考 察

1. 機能訓練専門デイサービスの90日間の利用は、利用者の立位・歩行機能の改善に有効であった。

歩行速度
複合的移動能力
動的バランス
静的バランス
全身持久力



2. 今後は、改善した運動機能が、利用者の活動や参加の向上につながる支援を行い、科学的に検証していきたい。